

zetton

FY2021 2020.3.1–2021.2.28
ANNUAL REVIEW

株主の皆様へ

株主の皆様 この1年間、
変わらぬご支援をいただきましたこと
誠にありがとうございます。

本当にこの1年間はずらぐ苦しい年で
様々な判断の連続でした。

そして まさに今、当社は
大きなターニングポイントに立っていると
実感しております。



WITH COVID-19

期初より続いた新型コロナウイルス感染症の影響は、2度
にわたる緊急事態宣言に伴う休業要請や外出自粛の強まり
を招き、厳しい環境となりました。

当社は、緊急事態宣言発令前の4月2日、関東圏から順次
店舗休業を実行し、宣言解除後にはお客様の安全を守る
ための独自の安全基準“zetton PROMISE”を構築し、ご
安心いただける環境づくりにいち早く取り組みました。

第三者割当増資による資金調達

既に通知させていただいておりますとおり、2020年11月
に第三者割当増資を行いました。

コロナパンデミックという不測の事態が長期化したことによ
り、事業継続するためにも必要な資金でした。しかしなが
ら、今このように株主の皆様にご挨拶できるのも、直近3ヶ
年における「強い会社へ」を合言葉とした財務体質強化が
なければ、成し得られなかったことと思います。

また、この資金調達によって、当社は株式会社DDホール
ディングスの連結子会社から外れる結果となりましたが、同
社との資本業務提携が、この3ヶ年のV字回復に与えた影

響は大きいものと考えております。

今後、当社は、上場企業同士の独立性を維持しつつ、相
互にメリットが生まれる連携をDDグループと維持してまい
ります。

今後の成長へ

当社は、この1年間の取り組みをとおり、いくつかの課題と
強みを再確認いたしました。

世間ではコロナパンデミックによって、時代が早送りされた
という声も聞こえてきます。これまでも、外食企業を取り巻
く環境の課題が取り沙汰されることも多々ありましたが、そ
れらが一段と色濃く出た年になったといえます。

外食産業は、他の産業に比べても利益率が低く、投資効
率の悪い産業といえると思います。また、参入障壁は低く、
代替品も多くあります。このような環境下で、外食企業の
多くは、広く顧客を受け入れるために様々な戦略を練り、
様々なオペレーションを駆使し、「コストパフォーマンス」を
意識した価格競争に巻き込まれていました。

コロナパンデミックによる消費者マインドの変化については、
まだまだ不確実なことが多いですが、もし、以前のように一
消費者の外食頻度（回数）が戻らなかったとしても、消費

する金額（単価）については、以前よりかけても構わないという消費者が増えるのではないかと予想しております。

当社は、とりわけこうしたお客様に対しての価値提供が得意であるとの自負がございますが、更なる強化が必要であるとの考えから、以下の3つのことに注力してまいります。

1

ストックビジネス化への原点回帰

これまで当社の店舗運営は、一人一人のお客様のご要望にその場その場でお応えするよう努めてまいりましたが、その瞬間的なところに目を向けすぎているあまり、長期的なノウハウ形成や社内のお店展開の運用が課題であると考えておりました。コロナパンデミックにより、この課題は一層顕著に表れ、ご来店されるお客様や当社のオペレーションについて、あらゆる角度からデータ化することに挑戦し、その分析に取り組みます。その取り組みをおし、お客様のことをよく把握し、ニーズをより顕在化させ、ご来店されたお客様にご満足いただける価値をしっかりと提供することで、これまで以上に当社運営店舗のファンづくりに取り組んでまいります。これらを通じ、当社の無形的なノウハウ価値を着実に積み上げ、フロービジネスからストックビジネスに舵取りできるよう邁進してまいります。

2

サステナブル戦略の強化

当社は2019年4月にSUSTAINABILITY STRATEGYを打ち出しました。

コロナ禍において、持続可能な事業や経営に注目が集まりましたが、当社はこの1年間、さまざまなステークホルダーの方々に「ゼットン絶対には負けるな」というお声を多数いただきました。

当社の理念「店づくりは、人づくり。店づくりは、街づくり。」のもと、経営してきた中で、社会や環境、人権などに配慮した経営姿勢を評価いただけているものと自負しております。慢心することなく、当社の出来るところから、アイデアを駆使し、SUSTAINABILITY STRATEGYを推進してまいります。

3

拡張性という概念

当社は直近3ヶ年において、限定的な出店にとどめることで業績を改善してまいりました。飲食店事業における出店コストは多額である一方で利益率は低い、つまりROICが低い事業であり、出店による事業拡大について慎重にならなければならないと考えております。当社は、前段1に記載の戦略を進めることで蓄積されたデータ分析によるノウハウという無形の資産により、売上高を伸ばすのではなく、利益率を拡大する戦略をとるとともに、ゼロから立ち上げる新規出店ではなく、3や4からスタートする出店により勝率を上げるとともに、そのノウハウという無形資産そのものによる収益化に挑戦するビジネスの拡張をすすめてまいります。

当社がこれまでお客様に提供してきたものは、店舗で過ごす快適な空間であり、その時間です。デリバリーやECビジネスなどのビジネス転換では当社が創造する価値をお客様に十分に感じていただけることが困難です。当社では、そのような事業転換は検討せず、お客様のニーズを十分に把握したうえで、期待を上回る価値を提供し、更なるファンづくりに取り組んでまいります。

引き続き、外食企業を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況で、まだまだ外食企業の倒産件数も増加するのではないかと考えておりますが、その一方で、生き残った先には残存者利益が生まれるものと考えております。

当社の強みがしっかりと伝わるフィールドを強化し、価値を提供していくことで、こうしたチャンスを手に行けると思いますので、十分に準備を進めてまいります。

ぜひとも、株主の皆様におかれましても、引き続きご支援いただきますよう何卒よろしく願いいたします。

株式会社ゼットン
代表取締役社長

鈴木伸典

店づくりは、**人**づくり。

店づくりは、**街**づくり。

私たちは、
店づくりを通して
自身とチームの人間力を高めます。

私たちは、
内部及び外部のお客様*の
ニーズにお応えするよう努め、
前向きな人間関係を築きます。

私たちは、
街への感謝を常に心がけ、
店づくりを通して
新たな文化と笑顔を生み出し
街づくりに貢献します。

* zettonでは社内の人間関係もお客様として捉えております。





魅力あるコンテンツが 街を ブランディングする

ダイニング事業

Dining Division

出店する地域の人々や立地の特性に合わせた店舗ブランドの開発・再開発を行い、街の再開発の一端を担う事業。個店舗戦略にて運営を行っております。

アロハテーブル事業

Aloha Table Division

ハワイアンカルチャーをベースとしたライフスタイルを提唱するカフェ&ダイニング事業。「Aloha Table」を中心としたハワイ業態の店舗の運営を行っております。

ブライダル事業

Bridal Division

「Heritage Bridal Collection」ブランドによるレストランブライダルを展開。歴史ある建物に家族の歴史を刻んでいただける、そんな素敵なウェディングを提供しております。

アウトドア事業

Outdoor Division

夏季を中心とした期間限定のイベント事業。
商業施設の屋上だけに限らず、開放感あふれる場所を物件開発し、季節店舗の運営を行っております。

インターナショナル事業

International Division

米国 ハワイ州を中心とした海外進出事業。
「Aloha Table」本店をはじめ、様々なブランドを展開しております。

2021 NEW OPEN



六本木の三井ガーデンホテルプレミア最上階
テラス・レストラン・ラウンジ・バー

BALCON

TOKYO

「三井ガーデンホテル六本木プレミア」最上階に迫る東京タワービューが広がるテラスを備えた「BALCON TOKYO」。
六本木随一の高さを誇るテラスで都心の景色を一望しながら、シャンパンやワインとのマリアージュにこだわったお料理をご堪能いただけます。

内装デザインには、国内外で活躍するインテリアデザイナー
GLAMOROUS co., ltd. 森田恭通氏を起用。

研ぎ澄まされた美意識とモダンな感性が共存する「モダン・アールデコ」の極上空間で、バータイム・ディナー・ミッドナイトのティータム等、シーンに合わせてお過ごしいただけます。



BALCON TOKYO 【バルコン トーキョー】

■住所 東京都港区六本木3-15-17 三井ガーデンホテル六本木プレミア 14F
■TEL 03-6441-3231

2021 NEW OPEN



ALOHA TABLE
Waikiki

【アロハテーブル ららぽーと豊洲3】

開放的な空間の中、ロコモコやガーリックシュリンプなど、本場仕込みのローカルフードをお楽しみいただけます。また、ソイミルク・ホイップクリームをトッピングした全粒粉入りハワイアン・パンケーキなど、スイーツも充実!ランチからディナーまで、女子会やお友達とのお食事・飲み会など、様々なシーンでご活用ください。

■住所 東京都江東区豊洲2丁目2-1 アーバンドックららぽーと豊洲3 1F
■TEL 03-3520-8399



ISLAND LIFESTYLE
HEAVENLY
WAIKIKI

【HEAVENLY Island Lifestyle 代官山】

ホノルル・ワイキキの中心、Yelpのベスト・ブレイクファーストでも常に評価され、ハワイアン・オーガニックやイートローカルを軸に人気の「HEAVENLY Island Lifestyle」が、東京 代官山の八幡通り沿いに日本初上陸。

開放的なテラスとサーフシックな店内。ヘルシーでパワフルな朝食・ランチからディナーまで、いつでも食事、カフェ、バー使いができるオールデイダイニングです。

■住所 東京都渋谷区猿樂町24-7 代官山プラザ2F ■TEL 03-6416-9385

YOKKAICHI HARBOR

尾上別荘

Yokkaichi Harbor Onoe Besso

歴史に名を残す場所での特別なウエディング

レストランブライダル事業

『Heritage Bridal Collection』



四日市の港湾整備や工業発展に尽力した名士小菅剣之助氏の明治時代に建てられた別荘を改装し、さらにすぐ隣に新館として2つのバンケットホールとチャペルをもつ建物が建設された施設です。

小菅氏が自邸建設の地を選んだ、伊勢湾を見渡す海沿いの「尾上町」。百人一首の句や能「高砂」にも登場する縁起の良い名称としても有名で、周辺にも「尾上」「高砂」「相生」「住吉」など能に登場する地名が数多く存在しております。

1600坪の広大な敷地の中でも一際目を引くのが、その庭園。



表千家の茶席流に則って造られ、室内の花や香を引き立たせる、控え目でありながら本物の贅を知る者をも唸らせる造り。その当時からある灯笼や松の木など、歴史を感じさせるそれらは訪れる人々の目を楽しませています。

由緒ある建物と今なお残る歴史の香りを感じるこの地で、ウエディングやお食事をお楽しみいただけます。



【YOKKAICHI HARBOR 尾上別荘】

■住所 三重県四日市市尾上町1-28

■TEL 059-356-1170 ■HP www.heritage.jp

連結貸借対照表

[単位:百万円]

科目	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
資産の部			
流動資産	1,036	1,193	1,003
有形固定資産	1,101	1,398	1,618
無形固定資産	48	43	38
投資その他の資産	559	591	880
資産合計	2,747	3,225	3,541
負債の部			
流動負債	1,432	1,360	1,978
固定負債	573	786	1,412
負債合計	2,005	2,147	3,391
純資産の部			
資本金	383	383	561
資本剰余金	4	4	181
利益剰余金	369	693	△558
為替換算調整勘定	△15	△2	△35
純資産合計	741	1,078	149
負債純資産合計	2,747	3,225	3,541

連結損益計算書

[単位:百万円]

科目	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
売上高	9,727	10,284	4,716
売上原価	2,612	2,712	1,292
売上総利益	7,115	7,572	3,423
販売費及び一般管理費	6,651	7,105	5,116
営業利益	463	467	△1,692
営業外収益	40	16	138
営業外費用	12	9	23
特別利益	1	11	16
特別損失	98	7	24
税金等調整前当期純利益	394	477	△1,585
法人税、住民税及び事業税	60	50	16
法人税等調整額等	124	82	△350
当期純利益	210	345	△1,251

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科目	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	556	717	△1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302	△584	△497
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246	86	1,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	18	△26
現金及び現金同等物の増減額	△1	238	△264
現金及び現金同等物の期首残高	552	551	789
現金及び現金同等物の期末残高	551	789	524

株主メモ

2021年5月25日現在

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
株主確定基準日 (1) 定時株主総会 2月末日
(2) 期末配当 2月末日
(3) 中間配当を実施する場合 8月31日

定時株主総会 毎事業年度終了日から3ヶ月以内
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載 URL <http://www.zetton.co.jp>

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の管理人機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
お問い合わせ先

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (通話料 無料)

上場金融商品取引所 名古屋証券取引所 セントレックス
証券コード 3057

株主優待制度

毎年2月末日の株主名簿に記載された株主様を対象として、株主優待制度を実施しております。
所有株式数に応じてお食事優待券を贈呈しております。
なお、ご利用期間は2022年5月31日までとなります。

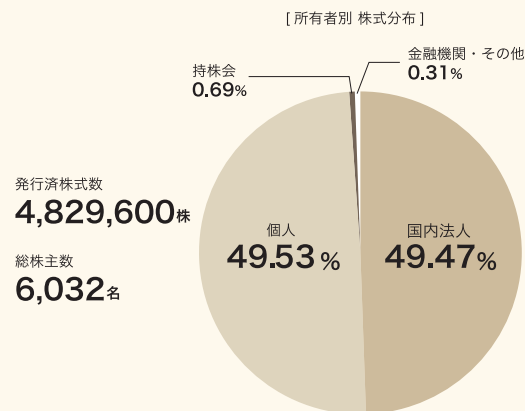
[贈呈品：食事券]

基準日時点で保有する株式数	継続保有期間 1年未満	継続保有期間 1年以上
100株以上300株未満	3,000円相当	4,000円相当
300株以上500株未満	9,000円相当	10,000円相当
500株以上	18,000円相当	19,000円相当

※ 継続保有期間1年以上とは、同じ株主番号で毎年8月31日現在および2月末日現在の株主名簿に、100株以上の保有を連続で3回以上記載されていることとします。

株主分布

2021年2月28日現在



会社名 株式会社ゼットン
設立年月日 1995年10月26日
本社所在地 東京都渋谷区神南 1-20-5
VORT 渋谷 briller 9F
名古屋オフィス 愛知県名古屋市中区栄 3-12-23
資本金 561,288 千円

役員
代表取締役社長 鈴木 伸典
取締役副社長 菊地 大輔
取締役副社長 小林 智哉
取締役 田中 俊一
社外取締役 手嶋 雅夫
取締役 大曾根 三郎
(常勤監査等委員)
社外取締役 渡部 峻輔
(監査等委員)
社外取締役 馳 雅樹
(監査等委員)

URL www.zetton.co.jp

www.zetton.co.jp